

一期一会

No. 1

天龍小学校

「一期一会」…人をもてなす際に「お茶」が双方のコミュニケーションにおいて重要な意味を持つようになった頃、「茶会」は毎回、一生に一度だという思いをこめて、双方が誠心誠意、真剣に行うべきことを説いた語。現在は、「一生に一度しかない出会い」「お互いに今こうしていられるのは一生に一度かぎり」という意味を持つようになった。(参考：大辞泉)

何かの縁で、私たちは出会い同じ時を過ごします。家族であれば、長期にわたり一緒に過ごします。教師と子ども達とは、家族まではいきませんが、ある程度長い期間一緒に過ごします。これもまた出会いです。出会いはたくさんありますが、その一つ一つの出会いは一度限りのものです。いずれ子ども達は社会に出て、初めての土地や場所で初めての人と出会い、初めてのものと出会います。そして、そのような暮らしの中で、出会い方を上手にできる人は社会で成功を収めたり、充実した生き方が出来たりする人になっていくと私は思っています。ですから私達は、そういう子どもを育てていくことが大事だと思います。今年も「一期一会」の出会いの考えを大切にして、充実した生活ができていくようにしたいと思います。

さて、今年度、天龍小学校は、各学級の児童数の関係で、1，2年と4，5年が複式学級、6年生が単独という3学級編制でスタートすることになりました。ただし、村等の協力を得て、職員は各学年に担任として入れるだけの人数がそろっています。従って、子どもの発達段階や実態に応じて2つの学年と一緒に活動したり、それぞれ単独で学習したりというように、フレキシブルに授業や活動を工夫していくことが可能になります。天龍小学校独自の学びのスタイルとして、子どもにとってよりよい学びを学校として追求していきたいと思えます。今後も学校や子ども達の様子を見ていただき、ご意見やご要望等を遠慮なくお聞かせいただければとうれしく思います。お世話になりますが、今年度もよろしくお願ひします。

入学式～4名の1年生が仲間入り～

今年度は4名の入学生を迎えました。ご家族におかれましては、誠におめでとうございます。4名の入学生を迎え、新しい出発ができたことをとてもうれしく思います。一日も早く小学校生活に慣れ、楽しく過ごしていけるよう、児童、職員共に頑張ります。

今年度は、全校児童が20名となりました。そして、今年度の本校の重点は「よく聴き、しっかり伝えることのできる子ども」です。このような子どもの姿を目指して、取り組んでいきたいと思えます。保護者の皆様にはご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

～始業式での校長の話から～

・・・皆さん、進級おめでとうございます。新しい学年になって、期待で胸を膨らませ今日を迎えたことと思います。

また、今日は出会いの日でもあります。新しい先生、教室や教科書、そしてこの後入学してくる新しい1年生、みんな新たな出会いです。それらの人や物やことと気持ちの良い出会い方をしてくださいね。

それからもう一つ、大切な出会いがあります。何だか分かりますか？

それは、新しい年度を迎え、新鮮な気持ちでいる、「新しい自分」との出会いです。

ところで、「節目を大切に」というお話は前にもしましたが、覚えていますか？

一年のうちには、いくつかの節目があります。1学期、2学期、3学期、12月31日から、新年1月1日を迎える時もそうです。でも、とりわけ、今、学年が上がる時の節目は、あなた方にとっては最も大切で、最も重要な節目です。今までの自分から、生まれ変わった自分になることができるくらい大きな節目です。この節目の時を上手に使える人は、心が大きく成長する人です。みんなそうなってくださいね。私も、この一年、みなさんのそういう成長する姿を見つけていきたいと思います。

さて、今年の学校の重点…学校教育目標と共に大事にして頑張っていきたいことです。それは、「聴くこと」…ただぼーっとして、聴いている格好だけではダメですよ。「そっかー、そういうことか、なるほどね。」というように、考えながら聴いて自分のものにしないとね。そうしたら、それについて考えたことを周りに「伝えられるようにすること」そういう勉強の仕方をしてほしいということです。これができるようになると、授業だけじゃなく、学校生活のいろいろなことが楽しくなります。

年度の初めなので、この1年、いつもみんなが忘れないように頭に入れて頑張っていってほしいことを話しました。教室で、担任の先生と一緒にこれから取り組んでいってください。